

令和2年度 子ども芸術文化活動支援事業
助成対象活動実績報告書

令和 年 月 日

公益財団法人 富山県文化振興財団 理事長 殿

住 所 (所在地) 〒

主催者名

団体名又は氏名 (代表者名)

印

年 月 日付け富文振第 号により助成金事業の決定を受けた事業の実績について下記のとおり報告します。

ふりがな)					
① 事業名					
事業の目的及び内容	(実施会場)				
	(実施日時・入場者数)	年 月 日 ()	開演時間 時 分	終演時間 時 分	入場者数 人
		年 月 日 ()	開演時間 時 分	終演時間 時 分	入場者数 人
	(事業目的) 該当する事業目的を、○で囲んでください。両方に該当する場合は、両方に願います。	子どもの鑑賞機会 子どもの発表機会			
	(実施内容) (下記の項目について、簡潔に記入してください。)				
	①出演者				
	②演目 (曲目)				
	③事業目的を達成するために工夫した点 (事業の特色など)				
	④全県的又は広域的な参加者を見込むために工夫した点				
	⑤事業の成果				
	⑥助成による効果				
共催者名・後援者名 協賛者名					
担当者 氏名		電話	(内線)	FAX	
			(時間外連絡先)	E-mail	
※添付資料：公演チラシ・ポスター・記録写真等、内容の分かる資料 (未作成の場合は、類するもの) を提出してください。					整理番号

②収支決算内訳

(収入)

区分	内 訳	決 算 額
	円	円
入 場 料 収 入		
そ の 他 の 収 入	[共催者負担金]	
	[県以外の補助金・助成金]	
	[寄付金・協賛金]	
	[プログラム等売上収入]	
	[広告料・その他収入]	
小 計 (イ)		
自 己 負 担 金 (ロ)		
助成金の決定額(ハ) ただし、交付内定額の範囲内		
総 額(イ)+(ロ)+(ハ)		

(支出)

		団体名又は氏名		
項 目	内 訳	額	決 算 額	
		円	円	
助 成 対 象 外 経 費 (A)	出演料・会場等借上料			
	音楽・文芸費			
	設営・舞台費			
	謝金・旅費・通信費			
	広報・印刷費			
	記録費			
	保険料			
	企画制作費			
	小 計 (A)			
	助成対象外経費 (B)			
総 額(A)+(B)				

※添付資料：支出に関する詳細な明細書(請求書や領収書等)を添付してください。

整理番号

記入例

(収入)		(支出)	
区分	内 訳	項 目	内 訳
入場料収入	入場料 500円×120枚 =60,000	出演料・会場等借上料	出演料 (山田太郎) 30,000 会場使用料 (公演当日、前日リハーサル) 50,000
その他収入	[共催者負担金]	音楽・文芸費	著作権使用料 10,000 調律料 20,000
	[県以外の補助金・助成金]	設営・舞台費	道具費 20,000 衣装費 20,000 照明費 10,000 音響費 10,000
	[寄付金・協賛金]	謝金・旅費・通信費	出演者交通費 10,000 出演者・スタッフ弁当代 20,000 通信連絡費 10,000
	[プログラム等売上収入]	広報・印刷費	広告宣伝費 10,000 入場券・チラシ・ポスター印刷費 20,000 入場券販売手数料 6,000
	[広告料・その他収入] 参加費・出演料 2,000円×15名 =30,000	記録費	CD編集・CD代 10,000
小計(イ)	90,000	保険料	
自己負担金(ロ)	自己負担金 71,000	企画制作費	コピー代 2,000 消耗品費 2,000
	助成金の決定額(ハ) ただし、交付内定額の範囲内 141,000	小計(A)	282,000
総額(イ)+(ロ)+(ハ)	302,000	助成対象外経費(B)	打ち上げ費 10,000 接待費 (おみやげ・記念品代) 5,000 打合せ会議用茶菓 3,000 振込手数料 2,000
		総額(A)+(B)	302,000

交付内定額を上限とした、「対象経費の1/2 (継続的事業は1/4)」又は「対象経費-収入額」のいずれか低い方の金額です。この記入例の場合は、対象経費の1/2になります。

各領収書に番号を付け対応する領収書番号を記入して下さい。請求書や領収書等の明細のない経費は、助成対象となりません。

プリンタトナー等の事務所費は助成対象外です。

※添付資料：支出に関する詳細な明細書(請求書や領収書等)を添付してください。

令和2年度 子ども芸術文化活動支援事業助成対象活動 実績報告書 チェックシート

※各項目について、□欄にチェックのうえ、提出書類に不備のないことを確認してください。

- 計算間違いはしていませんか。(もう一度計算を確認してください。)

- 助成対象経費、助成対象外経費(下記の経費)の区分は適正ですか。
(注) 助成対象外経費とは・・・
事務所等維持費(電話代、備品購入費、プリンタートナー等)、交際費・接待費(記念品代等)、レセプション・パーティーに係る経費、打ち上げ費、その他飲食関係費(公演当日の弁当及びケータリングは除く)、事業実施者自身が請求者となっている経費、振込手数料など。

- 支出の内訳欄は、応募要項 別表を参考にしながら、使途が解るように具体的に記入しましたか。

- 助成金の決定額(ハ)は、交付内定額の範囲内で、実績額に基づき改めて算定式により算定してありますか。
助成金算定式:「助成対象経費(A)の1/2(継続的事业は1/4)又は助成対象経費(A)から収入(イ)を控除した額のいずれか低い金額」

- 収入の総額(イ) + (ロ) + (ハ)と支出の総額(A) + (B)は同じ額になっていますか。

- 控えとして、提出物のコピーをとりましたか。

- 支出に関する詳細な明細書(請求書や領収書等)は添付しましたか。

- チラシやプログラム(作成した場合)等は添付しましたか。

- 活動や公演の記録写真(2~3枚程度)は添付しましたか。

- (助成金の振込先を確定するための)振込口座確認書は添付しましたか。